２０２０年度

長崎大学大学院多文化社会学研究科
多文化社会学専攻(博士後期課程)

学　生　募　集　要　項

一　般　入　試
社　会　人　入　試
外国人留学生入試
進　学　者　選　考

長崎大学大学院
多文化社会学研究科

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1番14号
電話:095-819-2975

目　　次

Ⅰ　アドミッション・ポリシー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

Ⅱ　選抜試験について
　１．　専攻及び募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
　２．　出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
　３．　出願資格審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
　４．　出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
　５．　出願書類等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
　６．　選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　７．　試験期日及び試験場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　８．　出願及び受験上における注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

Ⅲ　合格者発表・入学手続（概要）・その他留意事項
　１．　合格者発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　２．　入学手続（概要）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　３．　追加合格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　４．　奨学金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　５．　学位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　６．　長期履修制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　７．　障がい等のある入学志願者との事前相談・・・・・・・・・・・・・・・10
　８．　個人情報の取扱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　９．　安全保障輸出管理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
　10．　問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

Ⅳ．指導教員一覧及び主な研究テーマ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

Ⅴ．多文化社会学研究科における入試成績の開示について ・・・・・・・・・16

多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）の設置について ・・17

出願に係る様式　【様式１】～【様式１３】

Ⅰ　大学院多文化社会学研究科多文化社会学専攻(博士後期課程)

アドミッション・ポリシー（学生受入方針)

多文化社会学専攻（博士後期課程）は，入学者に以下の学力・能力，資質・素養を求めます。

① 人文社会科学に関する素養と知識を持つ。

② ２１世紀社会の「多文化社会的状況」――非対称的で不均等な社会の在り方，不均衡な資源分配に伴うリスクの拡大，民族・宗教・文化・国家等の摩擦や対立などが，世界のなお一層の交叉・輻輳をともないつつ，複雑な諸問題を生み出している状況――に対して，理解と共感を深めることができる。

③ 広く世界のさまざまなバックグラウンドを持つ人々との交流とともに，地球社会の発展と幸福に貢献することに関心を持つ。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試・社会人入試 外国人留学生入試・進学者選考
人文社会科学に関する素養と知識を持つ。	口述試験（出願書類の内容審査含む。）
２１世紀社会の「多文化社会的状況」に対して，理解と共感を深めることができる。	口述試験（出願書類の内容審査含む。）
広く世界のさまざまなバックグラウンドを持つ人々との交流とともに，地球社会の発展と幸福に貢献することに関心を持つ。	口述試験（出願書類の内容審査含む。）

Ⅱ． 選抜試験について

１． 専攻及び募集人員

専攻名	教育研究分野	募集人員
多文化社会学専攻	多文化社会学 詳細は「Ⅳ．指導教員一覧及び主な研究テーマ」（１２～１５ページ）を参照のこと	３名

２． 出願資格

【入試区分：一般入試・社会人入試・外国人留学生入試】

次の各号のいずれかに該当する者

なお，社会人入試については，出願時において企業等に正規職員として勤務し，所属長の許可を受けた者で，次の各号のいずれかに該当するもの

また,外国人留学生入試については,日本国籍を有しない者(日本国永住許可を得ている者を除く。)で，次の各号のいずれかに該当するもの

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び２０２０年３月までに取得見込みの者

(2) 外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び２０２０年３月までに授与される見込みの者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び２０２０年３月までに授与される見込みの者

(4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び２０２０年３月までに授与される見込みの者

(5) 国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び２０２０年３月までに授与される見込みの者

(6) 外国の学校，(4) の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準第１６条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び２０２０年３月までに合格が見込まれる者で，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者**（「３．出願資格審査」参照）**

(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第１１８号）

① 大学を卒業し，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者**（「３．出願資格審査」参照）**

② 外国において学校教育における１６年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者**（「３．出願資格審査」参照）**

(8) 本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達したもの又は２０２０年３月３１日までに２４歳に達するもの**（「３．出願資格審査」参照）**

(注) 上記の(2)～(8)により出願する者は，あらかじめ長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社

会学研究科担当）へ必ず照会すること。

【入試区分：進学者選考】

本学大学院博士前期課程又は修士課程を２０２０年３月に修了予定で，本課程に進学を希望する者

３． 出願資格審査

出願資格(6),(7)又は(8)で出願する者については,あらかじめ本研究科の行う出願資格審査を受け,出願資格を有する確認の証明を受けてから出願書類を提出すること。

なお，資格審査は，原則として提出された書類により行うが，面接を行うことがある。この場合は，改めて直接本人に通知する。

提出書類	備考
①出願資格審査申請書【様式１１】	本研究科所定の様式に必要事項を記入すること。
②入学志願票【様式１】	本研究科所定の様式に必要事項を記入すること。
③卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	出身大学長が証明したもの（原本）。大学以外の短期大学等については，最終学校長が証明したもの（原本）。 ※外国の学校又は機関が発行する書類が日本語以外の場合には，日本語訳を添付すること。 ※外国人留学生において，原本を提出できない場合は，理由書（様式任意）を添付の上，写しを提出すること。
④学業成績証明書	出身大学長が証明し，厳封したもの（原本）。大学以外の短期大学等については，最終学校長が証明し，厳封したもの（原本）。 ※外国の学校又は機関が発行する書類が日本語以外の場合には，日本語訳を添付すること。
⑤研究業績調書【様式６】	本研究科所定の様式に，学位論文，学術論文，研究報告，学会発表，特許等を記入すること**（業績を有する者のみ）**。
⑥研究(業務)等の概要【様式７】	本研究科所定の様式に，「研究業績調書【様式６】」に記載した業績について詳述すること。また，研究に関係する職務経歴についても業務内容等を記載すること。
⑦研究業績に関連した論文の別刷又は写し	「研究業績調書【様式６】」に記載した業績に関連した論文の別刷又は写しを提出すること**（業績を有する者のみ）**。
⑧研究(業務)歴・内容証明書【様式１２】	本研究科所定の様式により作成すること。「研究(業務)等の概要【様式７】」に記入した研究（業務）の内容・期間について，従事した機関の長が作成したもの**（出願資格(7)で出願する者のみ）**。
⑨在留カード又は旅券の写し	在留資格を証明するものの写しを提出すること（旅券は入国査証（VISA）の確認ができるページ）**（外国人の場合のみ）**。
⑩出願資格審査結果返送用封筒	長形３号の封筒に郵便番号，住所，氏名を明記の上，３７４円分の切手(速達）を貼付したもの。

※本研究科所定の様式は,本研究科ホームページからダウンロードすること。
(http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/gradschool/selection-doctoral-program.html)

(1) 出願資格審査書類提出期限
２０１９年１２月６日（金）１７時まで（必着）

(2) 出願資格審査書類提出先
〒852-8521　長崎県長崎市文教町１番１４号

長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）

(3)　出願資格審査結果通知

審査・認定の結果は，出願前までに本人へ通知する。

４．　出願手続

(1)　検定料振込期間

２０１９年１２月２０日（金）から２０１９年１２月２６日（木）

※銀行又は郵便局（ゆうちょ銀行も可）の営業日，営業時間を考慮して手続きを行うこと。

(2)　出願期間

２０１９年１２月２０日（金）から２０１９年１２月２６日（木）１７時まで（必着）

①　出願に当たっては**必ず希望する指導教員と事前に連絡**を取り，受験や研究内容・指導言語について十分相談しておくこと（「IV.指導教員一覧及び主な研究テーマ」（１２～１５ページ）参照）。

②　出願書類を持参する場合は，期間中の平日の９時から１７時まで（１３時～１４時を除く）受け付ける。

③　郵送する場合は**書留**とし，出願締切日時までに必着とすること。

③　検定料を出願締切日に振り込む場合は，振り込みの後，同日の１７時までに出願書類一式を提出しなければならないので，特に注意すること。

(3)　出願書類提出先

〒852-8521　長崎県長崎市文教町１番１４号

長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）

５．　出願書類等

志願者は，以下の出願書類等を，所定の期日までに長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）へ提出すること。

※本研究科所定の様式は，本研究科ホームページからダウンロードすること。

（http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/gradschool/selection-doctoral-program.html）

ただし，検定料の「振込書」（本学指定のもの）を使用する場合は，郵送又は長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）の窓口にて受け取ること。

出願書類等	備考
入学志願票【様式１】	本研究科所定の様式に必要事項を記入すること。 **※出願資格審査時に提出した者は不要**
写真票・受験票・検定料納付証明書貼付票【様式２，３，４】	本研究科所定の様式に必要事項を記入すること。 写真票・受験票には，同一の写真（上半身無帽，正面向きで，背景なしのカラー写真。出願３ヶ月以内に撮影したもの）を貼付すること。 なお，不鮮明，背景が暗い，画像に加工を施しているなど，本人確認に支障のある写真の場合は，出願を受け付けられないことがあるので注意すること。 検定料納付証明書貼付票には，各種銀行又は郵便局(ゆうちょ銀行も可)の取扱銀行収納印（日附印）が押印された「検定料納付証明書」（振替払込受付証明書（お客様用））又は金融機関所定の領収書又はその写しを貼付すること。 **※本学の大学院博士前期課程又は修士課程を２０２０年３月修了予定の者及び日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は，「検定料納付証明書貼付票」【様式４】の提出は不要である。**

検定料	３０，０００円 **ただし，本学の大学院博士前期課程又は修士課程を２０２０年３月修了予定の者及び日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要である。** ※本学指定の「振込書」又は金融機関所定の振込用紙により，各種銀行又は郵便局（ゆうちょ銀行も可）の受付窓口にて振り込むこと。 ※振込時に別途必要な振込手数料は，入学志願者本人の負担とする。 (1)　振込期間 「４.出願手続(1)検定料振込期間」による。 (2)　振込場所 各種銀行又は郵便局（ゆうちょ銀行も可）の受付窓口 **（ＡＴＭは使用不可。必ず受付窓口で振り込むこと。）** (3)　振込方法 ＜本学が指定する「振込書」を使用する場合（日本国内のみ）＞ ア　本学指定の「振込書」は，郵送又は長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）の窓口にて受け取ること（本研究科ホームページからダウンロードすることはできません）。８４円切手を貼った返信用封筒を同封の上，出願書類提出先へ「振込書」を請求するか，平日の９時から１７時まで（１３時～１４時を除く）の間に直接受け取りに来ること。 イ　「振込書」の※欄に，入学志願者の住所・氏名（フリガナ）及び電話番号を黒色のボールペンで正確に記入すること。 **ウ　「検定料納付証明書」（振替払込受付証明書（お客様用））を受付窓口から受け取る際には，必ず取扱銀行収納印（日附印）を確認すること。** エ　「検定料納付証明書」（振替払込受付証明書（お客様用））を本学所定の様式「検定料納付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。 ＜金融機関所定の振込用紙を使用する場合＞ 金融機関所定の振込用紙を使用する場合は，所定の様式に以下を正確に記入すること。 加入者名：国立大学法人長崎大学 振 込 者：電信扱 十八銀行 大橋支店 普通 226702 そ の 他：金額，氏名，出願する研究科名　等 なお，振込用紙の領収書に金融機関の受領印が押印されていることを確認の上，領収書又はその写しを，本学所定の様式「検定料納付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。 (4)　出願に際しての留意事項 ア　検定料納付証明書貼付票に検定料振込済の「検定料納付証明書」（振替払込受付証明書（お客様用））又は金融機関所定の領収書（又はその写し）を貼り付けた後に記入誤り等に気付き，やむを得ず新しい検定料納付証明書貼付票に書き替えなければならない場合は，検定料は二重に振り込まないこと。その場合は，貼付済の「検定料納付証明書」又は金融機関所定の領収書等を切り取って，新しい検定料納付証明書貼付票に貼り付けること。 イ　検定料が振り込まれていない場合，振込済の「検定料納付証明書」（振替払込受付証明書（お客様用））又は金融機関所定の領収書（又はその写し）を検定料納付証明書貼付票の所定の欄に貼り付けていない場合，及び「検定料納付証明書」（振替払込受付証明書（お客様用））又は金融機関所定の領収書等に取扱銀行収納印が押印されていない場合は出願書類を受理しない。 （次ページに続く）

検定料	(5)　既納の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しない。 検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願書類が受理されなかった）場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には，振り込んだ者の申し出により，当該検定料相当額は返還する。 なお，返還にかかる手数料は，原則，入学志願者本人の負担とする。 また，返還の申し出は，出願期間の最終日から１４日以内とする。 ［返還に関する問い合わせ先］ 長崎大学財務部財務管理課資金管理班　電話 095-819-2060 (6)　北海道胆振東部地震，2018年7月豪雨，熊本地震又は東日本大震災により被災された入学志願者には，本学が認めた場合，検定料免除の特別措置を行うので，出願前に長崎大学文教地区事務部学務課(多文化社会学研究科担当)（電話：095-819-2975）へ連絡すること。 なお，詳細については，本学ホームページにも掲載している。 http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/support/index.html
研究計画書【様式５】	本研究科所定の様式により作成し，事前に指導教員就任の内諾を得ている教員の署名を取得すること。 **※原則として本研究科ホームページからダウンロードした様式を用いてワープロで作成すること。**
卒業証明書又は修了（見込）証明書 **※最終学歴のみ**	出身大学長が証明したもの（原本）。大学以外の短期大学等については，最終学校長が証明したもの（原本）。ただし，出願資格審査時に提出した者は不要。 ※外国の学校又は機関が発行する書類が日本語以外の場合には，日本語訳を添付すること。外国人留学生において，原本を提出できない場合は，理由書（様式任意）を添付の上，写しを提出すること。
学業成績証明書 **※最終学歴のみ**	出身大学長が証明し，厳封したもの（原本）。大学以外の短期大学等については，最終学校長が証明し，厳封したもの（原本）。ただし，出願資格審査時に提出した者は不要。 ※外国の学校又は機関が発行する書類が日本語以外の場合には，日本語訳を添付すること。
研究業績調書【様式６】	本研究科所定の様式に，修士論文又はそれに準じるもの，学位論文，学術論文，研究報告，学会発表，特許等を記入すること**（業績を有する者のみ）**。ただし，出願資格審査時に提出した者は不要。 **※原則として本研究科ホームページからダウンロードした様式を用いてワープロで作成すること。**
研究(業務)等の概要【様式７】	本研究科所定の様式に，「研究業績調書【様式６】」に記載した業績について詳述すること。また，研究に関係する職務経歴についても業務内容等を記載すること。ただし，出願資格審査時に提出した者は不要。 **※原則として本研究科ホームページからダウンロードした様式を用いてワープロで作成すること。**
研究業績に関連した論文の別刷又は写し	「研究業績調書【様式６】」に記載した業績に関連した論文の別刷又は写しを提出すること**（業績を有する者のみ）**。ただし，出願資格審査時に提出した者は不要。 **※本学又は他大学の大学院博士前期課程又は修士課程を２０２０年３月修了予定の者で，出願期間までに当該書類を提出できない者は，遅くとも２０２０年１月１５日（水）１７時までに電子データ及び紙媒体で提出すること。**
在留カード又は旅券の写し	在留資格を証明するものの写しを提出すること（旅券は入国査証（VISA）の確認ができるページ）**（外国人の場合のみ）**。

TOEFL iBT，IELTS又は日本語能力試験の成績証明書（写）	「入学志願票【様式１】」において，TOEFL iBT（Test Dateスコアに限る。），IELTS又は日本語能力試験のスコア保持を記載した場合は，該当する成績証明書の写しを提出すること。
インターネットを利用した口述試験受験申請書【様式８】	以下のいずれかに該当する者で，インターネットを利用した口述試験受験を希望する者は，本研究科所定の様式に必要事項を記入し提出すること。 なお，口述試験実施にあたっては，提出された写真票等に基づき，本人確認の上実施する。 ①試験期間中に日本国外に滞在している者 ②試験期間中に業務の都合により口述試験会場に来られない者 ※②については，理由によってはインターネットを利用した口述試験受験を認めない場合がある。 ※①②いずれの場合も，あらかじめ主たる指導を希望する教員に了承を得ることを条件とする。
受験・就学承諾書【様式９】	２０２０年４月以降引き続き企業等に在職する者は，本研究科所定の様式を提出すること。**※社会人入試にて受験する者は必ず提出すること。**
受験票等返送用封筒	定型封筒長形３号（１２cm×２３．５cm）１枚に，志願者の氏名（宛名），郵便番号及び住所を明記の上，３７４円分の切手（速達）を貼付したもの。 ※海外在住でインターネットを利用して受験する場合は不要
宛名票【様式１０】	合格した場合に合格通知を受け取る宛先（郵便番号，住所，氏名）を明記すること。なお，出願後に変更があった場合は，直ちに長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）へ届け出ること。

６． 選抜方法

入学者の選抜は，一般入試，社会人入試，外国人留学生入試，進学者選考の全選抜試験共通で，口述試験の成績により判断し，得点の高い順に合格者を決定する。

・口述試験（出願書類の内容審査を行う口頭試問）

口述試験では，研究計画書等の提出された書類に基づき，受験者に修士論文又はそれに代わる研究業績，入学後の研究テーマ及び研究計画を説明させた後に，専門知識や研究遂行への関心・意欲，研究テーマ及び研究計画に関する概要や独自性，新規性等に対する質疑応答を行う。

また，各学生の研究課題で求められる語学力，講義科目の受講に必要な日本語能力及び人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力の評価を行う。

なお，講義を日本語で受講できる水準の日本語能力は，日本語能力試験の N1 レベル程度が目安であるが，求められる日本語能力は口述試験における受験者の発表や諮問等を通じて測る。

選抜方法	配点
口述試験	２００

７． 試験期日及び試験場

試験日時：２０２０年１月２５日（土）　※時間については受験者と調整の上決定する。

試 験 場：長崎大学文教キャンパス総合教育研究棟（長崎県長崎市文教町１番１４号）

※インターネット利用による口述試験実施の場合はこの限りでない。

交　通　機　関	
ＪＲを ご利用の場合	ＪＲ長崎本線「浦上駅」下車，その後，以下の路面電車もしくはバス利用 ■浦上駅から路面電車をご利用の場合 「浦上駅前」から「赤迫（あかさこ）」行き乗車 「長崎大学」で下車（所要時間／約１０分）　料金１３０円 ■浦上駅からバスをご利用の場合 「浦上駅前」から長崎バス１番系統「溝川」・「上床」・「上横尾」行き乗車 「長崎大学前」で下車（所要時間／約１０分）　料金１６０円
高速バスを ご利用の場合	各地より浦上経由長崎方面行き乗車 「昭和町（しょうわまち）」で下車，その後，徒歩で長崎大学東門まで約１５分あるいは長崎大学正門まで約２０分
航空機を ご利用の場合	長崎空港（大村市）４番乗り場から空港リムジンバス乗車 片道１，０００円 ■長崎県営バス「試験場前･諫早インター･浦上経由　長崎駅前」行き乗車 「長大東門前（ちょうだいひがしもんまえ）」で下車（所要時間／約４０分） ■長崎県営バス「試験場前･諫早インター･浦上経由･住吉経由　長崎駅前」行き乗車　「長崎大学前」で下車（所要時間／約４５分）

８．　出願及び受験上における注意事項

(1)　出願書類は全て黒色のボールペンで正確に記入すること。
(2)　不備のある出願書類は受理しない。
(3)　出願書類受理後は，いかなる理由があっても提出書類の内容変更は認めない。また，受理した出願書類は，いかなる理由があっても返還しない。
(4)　出願書類に虚偽の記載があった場合には，入学後でも入学を取り消すことがある。

Ⅲ．　合格者発表・入学手続（概要）・その他留意事項

１．　合格者発表

２０２０年２月６日（木）午前１０時

合格者の発表は，合格者の受験番号を総合教育研究棟の玄関前に掲示するとともに，同日，合格者に合格通知書を発送する。

なお，電話等による合否についての問い合わせには一切応じない。

２．　入学手続（概要）

(1)　入学手続期間

２０２０年２月１０日（月）から２０２０年２月１４日（金）

(2)　入　学　料　　２８２，０００円

(3)　授　業　料　　年額　５３５，８００円（半期２６７，９００円）

（注）1.　既納の入学料は返還しない。

2.　授業料は，前期分４月，後期分１０月に口座振替によりそれぞれ納入する。

3.　授業料は改定されることがある。在学中に改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用される。

4.　入学料及び授業料については，免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は，入学手続関係書類で知らせる。

5.　本学の大学院博士前期課程又は修士課程を２０２０年３月修了予定の者は，入学料の納入は不要である。

6.　日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は，入学料及び授業料の納入は不要である。

３．　追 加 合 格

入学辞退により入学定員（募集人員）に欠員が生じたときは，追加合格を通知することがあるので，不合格者であっても速やかに連絡が取れるよう，また，入学の意思について回答できるようにしておくこと。

また，追加合格による欠員補充が困難なときは，新たな日程による追加募集を行うことがある。その場合は，本研究科のホームページ等で発表する。

４．　奨　学　金

選考により，日本学生支援機構をはじめ，各種奨学団体の奨学金を利用することができる。

５．　学　　位

本課程を修了した者には次の学位を授与する。

博士（学術）　Doctor of Philosophy

６．　長期履修制度

長期履修制度とは，職業を有している等の事情により修学困難な者に対して，標準修業年限（３

年）を超えて一定の延長期間を加えた期間に，計画的な教育課程の履修を認めるものである。

本研究科（博士後期課程）では，最長６年までの在学期間を認めている。

入学時に許可されれば，通常の修業年限において支払う授業料の総額を，長期履修期間に学期毎に均等分して支払うことになる。長期履修を申し出ることができる者は，次のいずれかに該当する者で，標準修業年限内の修学が困難な事情にあるものとする。

(1)　職業を有し，就業している者
(2)　家事，育児，介護等に従事している者
(3)　障がいのある者
(4)　その他相当の事由があると認められる者

長期履修制度の利用を希望する場合は，事前に指導予定教員と相談の上，出願時に長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）（電話：095-819-2975）に申し出ること。

７．　障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で，受験上及び修学上の配慮を必要とする者は，出願の前に，下記の内容を記載した申請書（任意様式）に医師の診断書を添え，長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）（電話：095-819-2975）へ相談すること。入学者選抜においては事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

(1)　入試の区分
(2)　障がいの種類・程度
(3)　受験上の配慮を希望する事項
(4)　修学上の配慮を希望する事項
(5)　出身大学等でとられていた配慮
(6)　日常生活の状態
(7)　志願者の氏名・住所・連絡先電話番号

（本学では，長崎大学障がい学生支援室を設置して，障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。）

８．　個人情報の取扱

(1)　出願書類に記載された個人情報は，入学者選抜で利用するほか，住所・氏名を合格者に対する入学手続の案内業務に利用する。
(2)　出願書類に記載された個人情報は，入学者選抜後本学への入学を許可された者について，学籍関係業務等に利用する。
(3)　入学者選抜試験の成績及びその他の個人情報は，１年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用する。
(4)　入学者選抜試験で利用した個人情報は，個人が特定できない形で，本学における入学者選抜に関する調査・研究資料として利用する。
(5)　出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜試験の結果等の個人情報は,「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第９条に規定されている場合を除き，以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはない。

９． 安全保障輸出管理について

本学は，外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう，「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより，希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますのでご留意ください。

なお，詳細については，長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）へお問い合わせください。

１０． 問い合わせ先

入学試験についての問い合わせは，下記で受け付ける。なお，郵便による問い合わせの際は宛名を明記し，所要の切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。

〒852-8521　長崎市文教町１番１４号
長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）
TEL　095-819-2975
E-mail　hss_gakumu@ml.nagasaki-u.ac.jp

Ⅳ．　指導教員一覧及び主な研究テーマ

本研究科（博士後期課程）の入学志願者は，出願前に必ず希望する指導教員と事前に連絡を取り，受験や研究内容・指導言語について十分相談しておく必要がある。指導教員の連絡先がわからない場合は，本研究科のホームページにて確認すること。
(http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/gradschool/professors.html)

研究領域（系）	研究指導のアプローチ	教員氏名	主な研究テーマ	指導可能な言語
社会文化研究系	文学	葉柳　和則	文化社会学，文化表象論，ナラトロジー，ヨーロッパ文化	日本語
		鈴木　章能	英米・英語圏文学，文学一般，比較文学，外国語教育	日本語 英語
	歴史	正本　忍	フランス近世史，アンシアン・レジーム，治安，統治構造，社会史	日本語
		針貝　綾	美術史，美学・芸術諸学，芸術一般，博物館史，デザイン史	日本語
	自然・人間・文化	ギュルベヤズ　アブドゥルラッハマン	社会言語学，文化・宗教・社会意識，メディア，言語教育，音楽学	日本語 英語
		波佐間　逸博	文化人類学・民俗学，地域研究，社会学，アフリカ，地域間比較	日本語 英語
		森　元斎	現代哲学，社会思想，自然・人間・文化の思想史，生の哲学	日本語 英語
言語研究系	言語・コミュニケーション	楊　暁安	実験音声学，統語論，語用論，比較言語学，方言学	日本語 中国語
		西原　俊明	英語学（特に，統語論・動詞意味論），コーパス言語学，応用言語学	日本語 英語
		カトローニ　ピノ	語用論，談話研究，社会言語学，教授法，異文化間コミュニケーション	英語
		谷川　晋一	英語学，生成統語論，理論言語学	日本語 英語
		原田　走一郎	言語学，日本語学	日本語 英語
環海日本長崎学・アジア研究系	文化財・文化遺産	野上　建紀	近世考古学，水中考古学，陶磁史，海上交易史	日本語
		才津　祐美子	文化人類学・民俗学，文化資源，文化財・文化遺産，観光	日本語
		大平　晃久	人文地理学，文化遺産，記憶論	日本語

研究領域（系）	研究指導のアプローチ	教員氏名	主な研究テーマ	指導可能な言語
環海日本長崎学・アジア研究系	環海日本	前田　桂子	方言学，日本語学，近世語，文法学	日本語
		木村　直樹	日蘭交流史，近世史，史料研究，外交史，政治史	日本語
		吉良　史明	日本文学，思想史，美術史	日本語
	移動	王　維	人口・移住研究，マイノリティ，芸能・芸術研究，文化・宗教・社会意識，国際社会・エスニシティ	日本語 中国語
		首藤　明和	社会学，地域研究，アジア社会論	日本語 中国語
		細田　尚美	東南アジア地域研究，国際労働移動，トランスナショナル・コミュニティ	日本語 英語
		賽漢卓娜	家族社会学，移民研究，国際結婚，エスニシティ	日本語 中国語
		南　誠	歴史社会学，トランスナショナリティ，境界文化論，歴史と記憶，本国帰還者（中国帰国者），多文化共生	日本語 中国語
		滝澤　克彦	宗教学，文化人類学・民俗学，社会学，地域研究（モンゴル）	日本語
公共政策研究系	政策	森川　裕二	国際公共政策，国際政治学，東アジア国際関係	日本語 英語
		井田　洋子	公共政策，国家論，平和学，政教分離	日本語 英語
		吉田　ゆり	公共政策（子育て・子育ち環境），特別支援教育，臨床心理学	日本語
		東　史彦	EU 法，国際法，国際経済法，国際人権法，国際機構論	日本語 英語
		小松　悟	経済政策，国際開発，環境経済学，持続可能システム	日本語 英語
	教育	中島　ゆり	教育社会学，学校から職業・社会への移行，社会階層，ジェンダー，地域間格差	日本語 英語
		見原　礼子	比較教育学，教育社会学，移民政策，地域研究（ヨーロッパ），子ども社会学	日本語 英語
		畑中　大路	教育行政，教育経営	日本語
核兵器廃絶・平和学系	核・平和	鈴木　達治郎	原子力平和利用，核軍縮・核不拡散，核セキュリティ，エネルギー・環境，科学技術と社会	日本語 英語
		吉田　文彦	核抑止，核軍縮・不拡散，軍備管理条約，安全保障，平和	日本語 英語
		コンペル　ラドミール	地域紛争論，沖縄関係学，比較政治学，国際政治学，日本政治史	日本語 英語

＜本研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）が提供する５つの研究領域（系）について＞

多文化社会学に関する高度に専門的な知識と独創的な能力を身につけさせ，本研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）が目指す人材を育成することを目的とする。この５つの研究領域は，２１世紀の「多文化社会的状況」における諸問題について，修士課程において設定する５つの科目群（「グローバル・スタディーズ科目群」，「言語多様性科目群」，「環海日本長崎学・アジア研究科目群」，「政策科学科目群」「核軍縮・不拡散科目群」）を基盤としつつも，その専門性をなお一層深化させるものであり，ディプロマ・ポリシーで定める能力を獲得するために必要なものとなる。更に，前述した長崎に所在する国立大学の責務である核兵器廃絶・平和推進への取り組みや文化財・伝統芸能の保存，郷土史研究の発展等に加え，博士後期課程の特徴である「世界と地域」の一体的な創生を実現することにもつながる。なお，「社会文化研究系」，「言語研究系」及び「環海日本長崎学・アジア研究系」は，特に「多文化社会的状況」における複雑な諸問題の，より一層高度な「問題本質を見極める力」の養成に関わり，「公共政策研究系」と「核兵器廃絶・平和学系」は，より一層高度な「問題解決に向けた多様な解を提示する力」の養成に関わっている。これら「問題本質を見極める力」又は「問題解決に向けた多様な解を提示する力」は，多文化社会学に関する高度に専門的な知識と独創的な能力に基づく自立的な研究者及び高度専門職業人等を養成する上では不可欠な力である。

５つの研究領域（系）で養成する力は以下のとおりである。

研究領域(系)	養成する力
社会文化研究系	社会文化研究系では，共生の視点に立って，生命，精神，社会文化と，それらに関わる社会，制度，組織，相互行為，構造，機能などの多様性を理解し，世界を，「出来事の生成と消滅の反復」と「出来事の物質化（制度化）」が構成する動的平衡及び差異体系として捉えるなかで，摩擦や衝突を超えた新たな秩序や文化の形成を探究する力を身につける。
言語研究系	言語研究系では，社会の現実と問題が，言語・コミュニケーションから構成されることに基づき，相互理解の原理的解決の可能性を求めて，言語の固有性を，記号内容（意味や意図）と記号形式（音や動作）の統語性や，言語表現の使用による意図の共有から探究していくことができる力及び言語の適応的機能に関する思考・生成文法や，コミュニケーションによる社会構築の可能性，コミュニケーションの情報・伝達・理解の選択を支える非言語コミュニケーション及び非記号的コミュニケーションについて探究する力を身につける。
環海日本長崎学・アジア研究系	環海日本長崎学・アジア研究系では，日本・長崎の視点から，２１世紀の人文社会科学の土台となる新たな自己―他者関係の理論的構築に必要な力を養成する。 具体的には，従来の日本研究の諸成果を，東アジア及び世界に位置づけなおし，ヒト，モノ，コトの流動のなかにある日本，その１つの拠点としての長崎という視点から，従来の文学部中心の日本研究とは異なる，トランス・ディシプリナリーな「環海日本長崎研究・アジア研究」を探究する力やオリエンタリズム的認識（自己に対して優越的な意味を付与するために，他者を一段劣った存在として，搾取や救済の対象に据えて構築すること，このような自己中心的な自己–他者認識が，「他者支配の言説」（ディスコース）に基づく近代学問の在り方に深く根差していること）を，理論・実証を通じて脱構築し，グローバリゼーションによる世界や学問の脱中心化と多中心化に注視しながら，２１世紀の人文社会科学の前提となる，新たな自己–他者関係を探究する力を身につける。
公共政策研究系	公共政策研究系では，公共政策研究を通じてグローバルな公共的価値を形成するために必要な力を養成する。 具体的には，公共政策の課題設定と設計，政策形成と決定，政策実施と管理，政策評価を行うために，独創性と卓越性を備えた専門的，実践的により高度なレベルでの理論と方法の力を身につけた上で，政策過程の各段階でそれぞれのアクターが演じる役割や限界を理解するとともに，現在の国際関係を批判的に検討し，グローバルな公共的価値の形成と実現を探究する力を身につける。

核兵器廃絶・平和学系	核兵器廃絶・平和学系では，核抑止力に依存しない安全保障の枠組みや原子力平和利用と核不拡散の関係等について国際情勢を注視しつつ分析・考察し，核軍縮・不拡散に関する専門性の涵養を通じて，核なき世界の形成と実現を探究する力を身につける。

Ⅴ．多文化社会学研究科における入試成績の開示について

本研究科では，２０２０年度入試の成績を，受験者本人からの請求により開示する。

１．請求期間

課　　程	入試区分等	請　求　期　間
博士後期課程	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試 進学者選考	２０２０年２月６日（木）～２０２０年２月１４日（金）

※ 郵送の場合は，請求期間最終日必着のこと。
※ 窓口請求は，期間中の平日の９時から１６時まで（１３時～１４時を除く）受け付ける。

２．請 求 者

受験者本人に限る。

３．請求方法

【郵送の場合】

次の書類を下記請求先に郵送すること。
書類を受理した日から１４日以内に簡易書留郵便で「入試成績表」を送付する。

① 入試成績開示請求書【様式１３】
② 本研究科受験票（「入試成績表」送付時に返却する。）
③ 返信用封筒（長形３号封筒に，郵便番号・住所・氏名を明記し，郵便切手４０４円分を貼ったもの。）

※ 請求先
〒852-8521　長崎県長崎市文教町１番１４号
長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）
（電話：095-819-2975）

【窓口の場合】

長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学研究科担当）の窓口に，本研究科受験票を提示のうえ，「入試成績開示請求書【様式１３】」を提出すること。
書類を受理した日から１４日以内に窓口で「入試成績表」を交付する（受け取りの際，本研究科受験票を持参すること）。

４．開示内容

請求者が受験した口述試験の得点を開示する。

多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）の設置について

本研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）では，修士課程で身につけた多文化社会学の「学問のエレメンツ」と「学問のプラクティス」の統合と展開を更に進め，多文化社会学の更なる高度化と専門化をより一層図ることで，研究者として自立できる独創的な知見と能力及び高度に専門的な職業に従事できる卓越した能力を養成する。すなわち，多文化社会学の更なる高度化では，多様性を前提にして，異なる文化や社会との交流からグローバルとローカルの接続を図り，世界を俯瞰的に捉えると同時に，生命，精神，社会文化への関心を有するディシプリンを糾合して，人文社会科学系の学際的な総合研究領域の構築を目指すものであることを踏まえ，多文化社会学のより高度なレベルでの洗練化を通じて，「多文化社会的状況」における複雑な諸問題の「問題本質の見極め」と「問題解決に向けた多様な解の提示」を目指し，２１世紀の学問に求められる価値の創生と普及及び生命，精神，社会文化の持続可能な世界の構築に資する，国際的発信能力を備えた研究者及び高度専門職業人等を養成する。

ディプロマ・ポリシー（本研究科多文化社会学専攻(博士後期課程)の人材育成像）

２１世紀の「多文化社会的状況」における諸問題について，次の（1）から（3）の能力を有していること。

(1) 以下のいずれかの研究を行い，多文化社会学に関する高度に専門的な知識と独創的な能力
- ①共生と多様性の理論の確立を目指す社会文化研究
- ②言語・非言語コミュニケーションを通した相互理解の原理的解決を目指す言語研究
- ③日本・長崎の視点から，２１世紀の人文社会科学の土台となる新たな自己―他者関係を構築するアジア研究
- ④グローバルな公共的価値を形成する公共政策研究
- ⑤核兵器廃絶の推進に寄与する平和に関する理論的及び実践的研究

(2) 人文社会科学系の再編を通じた多文化社会学の基盤的かつ汎用性を持った知と方法のより一層高度な修得を通じた，「多文化社会的状況」における「問題本質を見極める能力」又は「問題解決に向けた多様な解を提示する能力」

(3) 異なる社会の経験と理論を往還し，新たな知と価値を創生するなかで，自立的に研究を遂行することができる卓越した能力又は高度に専門的な職業に従事することができる卓越した能力

カリキュラム・ポリシー（本研究科多文化社会学専攻(博士後期課程)の教育課程編成）

５つの系から多様な専門分野で構成される研究指導チームが構成され，多角的な視野に基づく研究指導を通じて，多文化社会学の独創的な知見や卓越した能力を修得する。

- 基盤的かつ汎用性を持った多文化社会学の，より高度で独創的な知と方法を修得するため，社会文化研究系，言語研究系及び環海日本長崎学・アジア研究系の見地から「多文化社会的状況」への「問題本質を見極める力」の基盤を形成し，公共政策研究系及び核兵器廃絶・平和学系の見地から新たな知と価値の創生につながる「問題解決に向けた多様な解を提示する力」の基盤を形成する講義科目を編成する。
- 各自の研究テーマの目的・意義・方法を明確化し，「問題本質を見極める力」又は「問題解決に向けた多様な解を提示する力」の更なる高度化を図るために演習科目を編成する。
- 演習科目の履修で得た研究成果に基づき，更なる分析と考察を進めるなかで，博士論文を作成するために研究指導を実施する。

【様式１】

２０２０年度長崎大学大学院多文化社会学研究科
多文化社会学専攻（博士後期課程）
入学志願票

<table>
<tr><td rowspan="2">受 験 番 号</td><td rowspan="2">※</td><td>ふ り が な
（外国人はローマ字）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>生年月日・性別</td><td colspan="3">西暦　　年　　月　　日生（満　　歳）</td><td colspan="2">□ 男　　□ 女
（レを付すこと）</td></tr>
<tr><td>出願区分
（該当する区分をレ）</td><td>□　一般入試</td><td>□社会人入試</td><td>□外国人留学生入試</td><td colspan="2">□進学者選考</td></tr>
<tr><td>研究テーマ
又は
関 心 領 域</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>指導予定
教員名</td><td colspan="2"></td><td>□</td><td colspan="2">指導予定教員と事前に連絡を取り受験について承諾を得ています
（レを付すこと）</td></tr>
<tr><td>出 願 資 格</td><td colspan="5">出身大学名　　大学　　学部　　学科
西暦　　年　　月
○　卒業
○　卒業見込み
○　修了
○　修了見込み
○　退学</td></tr>
<tr><td>現　住　所</td><td colspan="5">〒　　－
☎（　　）　　－</td></tr>
<tr><td>合 格 通 知
送　付　先</td><td colspan="5">〒　　－
☎（　　）　　－</td></tr>
</table>

記入上の注意　(1)　受験番号以外は全て記入すること。
(2)　裏面の履歴書欄は学歴・職歴を全て記入すること。
なお，外国において教育課程を修了した者の学歴については所定の欄に記入すること。

【様式１】

履　　歴　　書

	事　　項	
学歴	西暦　　年　　月　　日	高等学校　卒業
	年　　月　　日	
	年　　月　　日	
	年　　月　　日	
	年　　月　　日	
	年　　月　　日	

（外国において教育課程を修了した者）

	教育課程	学　　校　　名	正規の修業年限	入学・卒業の年月
学歴	初等教育（小学校）		年	入学　年　月 卒業　年　月
	中等教育（中学校及び高等学校）		年	入学　年　月 卒業　年　月
			年	入学　年　月 卒業　年　月
	高等教育（大学等）		年	入学　年　月 卒業　年　月
			年	入学　年　月 卒業　年　月
現在の身分				
備　　考				

職歴	西暦　　年　　月　　日	
	年　　月　　日	
	年　　月　　日	
	年　　月　　日	
	年　　月　　日	
	年　　月　　日	
	年　　月　　日	

TOEFL iBT，IELTS又は日本語能力試験のスコア ※スコアを保持している場合のみ記載し，該当する成績証明書の写しを提出すること	・TOEFL iBT（Test Dateスコアに限る。）　（　　）点 ・IELTS（overall）（　　） ・日本語能力試験（　　） ※日本語能力試験のスコアは外国人留学生入試対象者のうち試験結果を有する者のみ記載すること

【様式２】

２０２０年度長崎大学大学院多文化社会学研究科
多文化社会学専攻（博士後期課程）
写　真　票

受験番号	※
課程/専攻	博士後期課程/多文化社会学専攻
ふりがな 氏　名	

写真貼付
出願３ヶ月以内に撮影したもの
（縦４㎝×横３㎝）
写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

（注）※印欄は記入しないこと。

----------切--り--離--さ--な--い--こ--と----------

【様式３】

２０２０年度長崎大学大学院多文化社会学研究科
多文化社会学専攻（博士後期課程）
受　験　票

受験番号	※
課程/専攻	博士後期課程/多文化社会学専攻
ふりがな 氏　名	

写真貼付
出願３ヶ月以内に撮影したもの
（縦４㎝×横３㎝）
写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

（注）※印欄は記入しないこと。

----------切--り--離--さ--な--い--こ--と----------

【様式４】

検定料納付証明書貼付票

【多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）入学試験】

住　所	
課程/専攻	博士後期課程/多文化社会学専攻
氏　名	

検定料納付証明書
貼付欄

各種銀行又は郵便局（ゆうちょ銀行も可）で振り込んだ際に受領する検定料納付証明書（受付局日附印が押印されていることを確認すること。）をこの枠内の文字の上から貼り付けること。

【様式５】

研　究　計　画　書

受験番号	※	受験者 氏　名	
指　導 教員名		指導教員 署名欄	

（注）※印欄は記入しないこと。

研究テーマ又は関心領域	

１．本研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）を志望する理由

２．研究計画の概要又は関心領域の概要

【様式６】

研究業績調書

ふりがな 氏　　名		受 験 番 号	※ 記入しないこと

学位論文，学術論文，研究報告，学会発表，特許等の名称	発行又は発表の 年 月 日	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	備考 （共著者又は共同発表者名）

長崎大学大学院多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）

【様式７】

研究（業務）等の概要

ふりがな 氏　　名		受 験 番 号	※ 記入しないこと

【様式８】

インターネットを利用した口述試験受験申請書

受　験　番　号	※ 記入しないでください	ふりがな 氏　名	
住　所	〒　　－		
電話番号		E-mail	

以下の項目全てに必要事項を記入し，入学願書と併せて提出すること。
なお，口述試験実施にあたっては，提出された写真票等に基づき，本人確認の上実施します。

１．インターネットを利用した口述試験受験を希望する理由を選択

インターネットを利用した口述試験受験を希望する理由の選択欄に〇を記入してください。

希望する理由	選択欄
①試験期間中に日本国外に滞在している　→滞在国名（　　）	
②試験期間中に業務の都合により口述試験会場に来られない →詳細な理由（　　）	

※②については，理由によってはインターネットを利用した口述試験受験を認めない場合がある。

※①②いずれの場合も，予め主たる指導を希望する教員に了承を得ることを条件とする。

２．希望する受験方法を選択

希望する受験方法の選択欄に〇を記入してください。ただし，複数の場合は優先順位を付して記載（①，②･･･）してください。

受験形態	選択欄
テレビ会議システム（Polycom 等を使用）による	
パソコン端末等の Skype による	
その他（　　）	

※その他の方法については具体的に記載すること。ただし，当該受験方法については大学の判断で認められないことがありますのでご留意ください。

３．上記２で選択した受験方法の連絡先について

上記２で選択した受験方法について，IP，アドレス等の連絡先を記載してください。

受験形態	IP アドレス等
テレビ会議システム（Polycom 等を使用）による	
パソコン端末等の Skype による	
その他（　　）	

４．受験日程について

日程については，入学願書を受理した後，大学側で調整し連絡します。

出願票を受理した後，メールにより希望する受験方法についてテストコールを実施する時間帯を連絡しますので，メールを確認するよう注意してください。

長崎大学大学院多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）

【様式９】

受 験 ・ 就 学 承 諾 書

長 崎 大 学 長　　殿

このたび，(氏名)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が貴大学院多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）を受験することを許可します。
なお，本人が貴大学院に入学した場合は，在職のまま在学することを認めます。

年　　月　　日

所属機関所在地

所属機関名

代表者氏名　　印

【様式１０】

宛　名　票（　返　信　用　）

本研究科が合格通知及び入学に関する資料を送付する際の宛名として使用するので，郵便番号，住所（日本国内に限る。），氏名を正確に記入すること。

また，出願後，住所等が変更した場合はすみやかに届け出ること。

□□□－□□□□

住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿　　　　　博士後期課程

受験番号	※

（注）※欄は，記入しないこと。

□□□－□□□□

住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿　　　　　博士後期課程

受験番号	※

（注）※欄は，記入しないこと。

【様式１１】

年　　月　　日

出 願 資 格 審 査 申 請 書

長崎大学大学院多文化社会学研究科長　殿

ふ り が な
志願者氏名　　印

私は，貴研究科受験のため出願資格審査を受けたいので，下記関係書類を添えて申請します。

記

関係書類一覧（提出書類に✓を記入）

□　入学志願票【様式１】

□　卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書

□　学業成績証明書

□　研究業績調書【様式６】

□　研究（業務）等の概要【様式７】

□　研究業績に関連した論文の別刷又は写し

□　研究（業務）歴・内容証明書【様式１２】※出願資格(7)で出願する者のみ

□　在留カード又は旅券の写し　**※外国人の場合のみ**

□　出願資格審査結果返信用封筒

【様式１２】

研 究 （ 業 務 ） 歴 ・ 内 容 証 明 書

受験番号	※

年　　月　　日

長崎大学大学院多文化社会学研究科長　殿

証明者　所属機関の長

所属機関名

職　　名

氏　　名　　印

下記の者の研究（業務）従事内容について証明します。

氏　　名	
職　　名	
雇用（活動）形態	
期　　間	年　月　日　～　年　月　日

研究（業務）内容

（注）①　※印欄は記入しないこと。
②　社会貢献活動等，職務以外の場合は，該当箇所のみ記入。

長崎大学大学院多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）

【様式１３】

２０２０年度長崎大学大学院多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）

入 試 成 績 開 示 請 求 書

年　　月　　日

長崎大学大学院多文化社会学研究科長　　殿

（申請者）

住　　所 電話番号	（〒　　－　　）　　電話番号
ふりがな 氏　　名	印
生年月日	西暦　　年　　月　　日

私が今般受験した大学院入試に関する個人成績について情報開示を申請します。
なお，入試成績表の受け取り方法は，（☐　窓口　　☐　郵送）を希望します。
※　該当する☐にチェック（レ）してください。

記

入学試験年度	２０２０年度
受　験　番　号	
試　験　区　分	☐　一般入試　　☐　社会人入試 ☐　外国人留学生入試　　☐　進学者選考

※　該当する☐にチェック（レ）してください。

（注）１　本人確認のため，受験票を提示又は同封してください。
受験票を紛失した場合は，本人を確認できる身分証明書（運転免許証，パスポート等）の写しを提示又は同封してください。
なお，申請者が本人であることを確認するため，申請受付後に電話により問い合わせることがあります。

２　郵送での開示を希望する場合は，返信用封筒（長形３号封筒に，郵便番号・住所・氏名を明記し，郵便切手４０４円を貼付のもの。）を提出又は同封してください。

※ 以下の欄は事務局が記入します

本人確認欄　○受験票　○身分証明書（　　）	年　　月　　日受理